

## 令和6年度 事業計画案

令和6年2月18日

特定非営利活動法人クリエイト

所在地 さぬき市津田町鶴羽1250-5

電話 0879-42-5170

### 1 事業の方針

令和6年度は、子どもの健全育成のためのフリースクール運営を中心として行う。フリースクールは前年度同様実施し、様々な理由でクリエイトへ来る児童生徒の社会や学校への積極的な参加を促進する。小学生、中学生、高校生と必要なサポート内容、学習内容が違うため、個別の成長に見合った関りをそれぞれに担当者を定めて行う。

生活面のサポートが必要な中学、高校過程の子どものために生活サポート拠点として父の心ハウスを常時管理運営し、安心できる居場所として活用する。

フリースクールと地域の学校との連携を深めることを目指し、月2回の公立登校日を継続して行う。また、職員による公立学校訪問や教育委員会、福祉や行政への働きかけを積極的に行う。本年度は通ってくる児童生徒が在籍する小中学校より出席と成績の認定を得られるよう、保護者と本人の意思を尊重の上、各小中学校に働きかけ協議する。

発達障害等困難な状況にある子ども達に対応するため、職員が学習と生活の補助技術を学ぶ機会を定期的に確保し、具体的なサポートの技術向上を目指す。このために香川県内のオルタナティブスクールネットワーク内で共有される情報を有効活用する。

地域児童へ様々な学習機会を提供し、地域に対して多様な教育機会の必要性を啓もうするため、イベントや夏休みの特別講座、放課後英会話、パネル展を実施する。この活動には受給が決定した大和証券財団助成金を充てる。

また令和6年4月より子ども食堂を実施し、貧困等によりサポートの必要を抱えている子ども、孤独に陥り交流を必要としている子どもの役に立つ活動を行う。それぞれのイベントや活動時には、個別に困りごとに関して相談ができるよう場を設ける。この活動には受給が決定した子どもの未来応援基金助成金を充てる。

地域のイベント等への参加、出品を積極的に行い、地域住民の目に留まるよう広報活動を行う。地域社会に貢献し、連携を深めるために、フリースクール利用児童生徒によるボランティア活動参加や、クリエイト主催の交流活動を行う。

多様な教育機会の確保を通して地域の子どもの健全育成のために協力関係を築けるよう、地域の企業や団体へ働きかける。また香川県で発足しているオルタナティブスクールのネットワークや、全国的なチャーチスクール等のネットワークに積極的に参加し、多様な学びを提供する団体同士の連携を強める。

児童生徒が世界に貢献する意識を養うため、多様な講師を招き、国内外の現状を学ぶ機会を設ける。また海外ボランティア実施に向けて計画準備を行う。

- (1) 申請予定助成金：お金をまわそう基金、さぬき市赤い羽根共同募金、イオン黄色いレシート、大和証券財団、こどもの未来応援基金

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の見込み人数	受益対象者の範囲及び見込み人数	事業費の予算(千円)
フリースクール事業	不登校児童、生徒等の学習支援および進学、自立支援 放課後英会話 夏休み特別講座 パネル展、ワークショップ、主催イベント	通年	本法人の事業所他	20人 (無償ボランティア含む)	利用児童生徒 60人	9,436
子ども食堂事業	子ども食堂「さぬきみんなの食堂」の設置運営と交流活動 遊びの醸成、学習支援	通年	本法人の事業所	20人 (無償、有償ボランティア含む)	食堂利用者 300人	1,241

### (2) その他の事業

実施予定なし

## 令和7年度 事業計画案

令和6年9月26日

特定非営利活動法人クリエイト

所在地 さぬき市津田町鶴羽1250-5

電話 0879-42-5170

### 1 事業の方針

令和7年度は、主な事業として子どもの健全育成のためのフリースクール事業を、また追加事業として子ども食堂事業を行う。

フリースクールは前年度同様実施し、様々な理由でクリエイトへ来る児童生徒の社会や学校への積極的な参加を促進する。小学生、中学生、高校生と必要なサポート内容、学習内容が違うため、個別の成長に見合った関りをそれぞれに担当者を定めて行う。

生活面のサポートが必要な中学、高校過程の子どものために生活サポート拠点として父の心ハウスを常時管理運営し、安心できる居場所として活用する。

フリースクールと地域の学校との連携を深めることを目指し、月2回の公立登校日を継続して行う。また、職員による公立学校訪問や教育委員会、福祉や行政への働きかけを積極的に行う。令和6年度より、通ってくる児童生徒が在籍する小中学校による出席と成績の認定が得られるようになったため、新規施設利用者に関しては保護者と本人の意思を尊重の上、各小中学校に働きかけ出席認定を得られるよう協議する。

発達障害等困難な状況にある子ども達に対応するため、職員が支援技術を学ぶ機会を定期的に確保し、より有効な支援を目指す。このために香川県内のオルタナティブスクールネットワークや社会福祉協議会主催で行われる情報交換会、学習会、協議会等に積極的に参加する。

地域児童へ様々な学習機会を提供し、地域に対して多様な教育機会の必要性を啓もうするため、イベントや夏休みの特別講座、放課後英会話、パネル展を実施する。フリースクール事業の中でパネル展については令和6年度受給が決定した大和証券財団助成金を充てる。

地域のイベント等への参加、出品を積極的に行い、地域住民の目に留まるよう広報活動を行う。地域社会に貢献し、連携を深めるために、フリースクール利用児童生徒によるボランティア活動参加や、クリエイト主催の交流活動を行う。

多様な教育機会の確保を通して地域の子どもの健全育成のために協力関係を築けるよう、地域の企業や団体へ働きかける。また香川県で発足しているオルタナティブスクールのネットワークや、全国的なチャーチスクール等のネットワークに積極的に参加し、多様な学びを提供する団体同士の連携を強める。

児童生徒が世界に貢献する意識を養うため、海外ボランティア実施を見据えた体験型学習や計画準備を行う。また子ども食堂へのボランティアを広く子ども達からも募り、参加機会を提供する。

子ども食堂事業としては、毎月1回子ども食堂「さぬきみんなの食堂」を実施し、貧困等によりサポートの必要を抱えている子ども、孤独に陥り交流を必要としている子どもに食事を提供する。また貧困等の状況にある子どもの役に立つ、学習支援や遊び等の活動を行う。それぞれのイベントや活動時には、個別に困りごとに関して相談ができるよう場を設ける。子ども食堂事業には受給が決定した子どもの未来応援基金助成金を充てる。

- (1) 申請予定助成金：お金をまわそう基金、さぬき市赤い羽根共同募金、イオン黄色いレシート、大和証券財団、こどもの未来応援基金

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の見込み人数	受益対象者の範囲及び見込み人数	事業費の予算(千円)
フリースクール事業	不登校児童、生徒等の学習支援および進学、自立支援 放課後英会話 夏休み特別講座 パネル展、ワークショップ、主催イベント	通年	本法人の事業所他	20人 (無償ボランティア含む)	さぬき市及び周辺市町の不登校児童生徒 400人	9,829
子ども食堂事業	子ども食堂「さぬきみんなの食堂」運営と食事提供、交流活動 遊びの醸成、学習支援	毎月1回	本法人の事業所	20人 (無償、有償ボランティア含む)	さぬき市及び周辺市町の生活困窮者等の食堂利用者 400人	986

(2) その他の事業

実施予定なし